

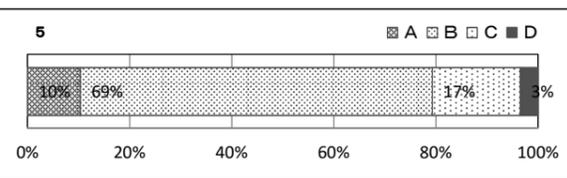
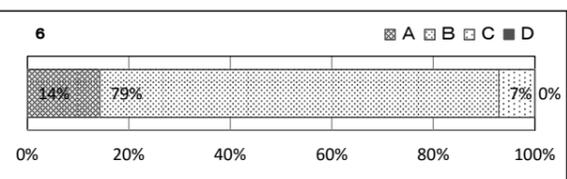
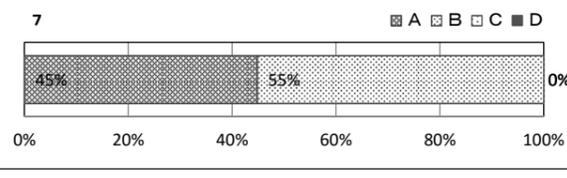
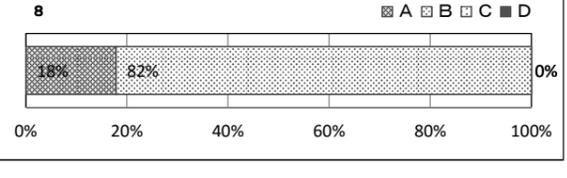
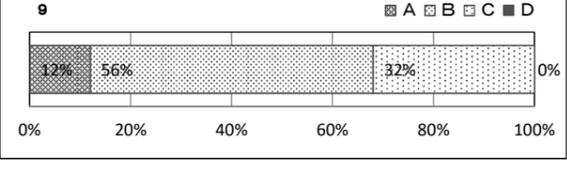
「よりよい学校づくりのために 一学校職員自己評価一」(集計結果)

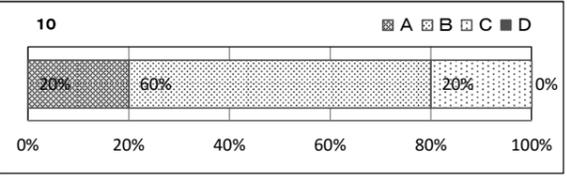
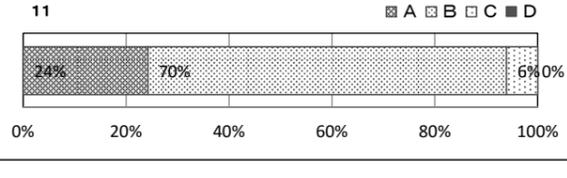
○学校教育目標の具現化に向けた平成27年度の実践について、次年度の計画立案のために以下の項目にお答え下さい。 ご自分の業務の中で書ける項目のみでかまいません。

A:できた B:おおむねできた C:あまりできなかった D:できなかった に○をつけて下さい。

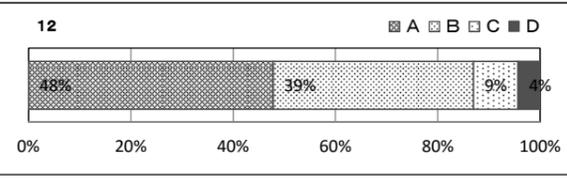
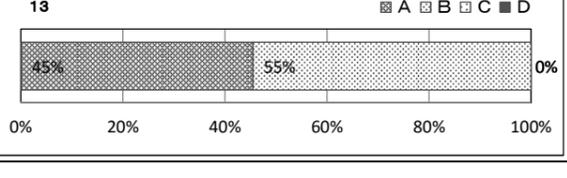
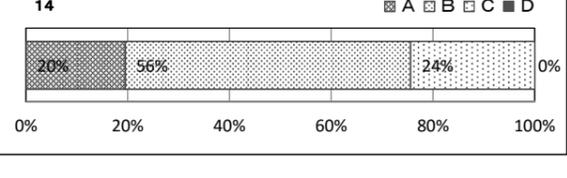
<重点指導, 学習指導, 生徒指導, 心と身体について振り返る>

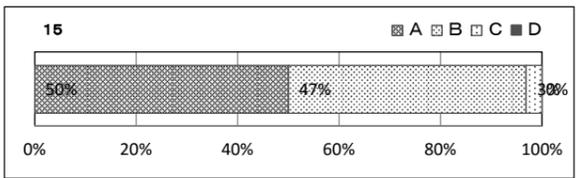
No	具体的な目標及び項目	評価指標	課題(●)と成果(○)	次年度への改善策
1	やさしい子・きれいにする子	<p>○あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようございます」が自分から言えるようになったか。</li> <li>・「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えるようになったか。</li> <li>・友達、先生方、家族、見守りのおじさん、おばさんへとあいさつの輪を広げられたか。</li> </ul> <p>(委員会児童、あいさつ名人の活動)</p>	<p>○教職員から、あいさつすると子どものほうからあいさつをするようになった。3</p> <p>○あいさつ名人の活動によりよくなってきている。14</p> <p>○常盤松中との連携ができてよかった。</p> <p>○生活委員会の取り組みによりよくなってきている。</p> <p>○「ありがとう」は多くの子が言えている。</p> <p>○部活動を通して指導し、あいさつがよくなってきた。</p> <p>○あいさつすると感謝の気持ちが伝わることを指導し、あいさつできるようになった。</p> <p>○「おはようございます」はクラス全員が言えるようになった。</p> <p>・個人差が大きい4</p> <p>・子どもからあいさつするという姿勢の徹底</p> <p>・「ごめんなさい」については、もう少し。3</p> <p>・地域の方には、あまりしていない。校外でも進んであいさつさせたい。4</p> <p>・返事に関してはもう少し。2</p> <p>・自分からきちんとあいさつできるようにはならなかった。</p> <p>・声が小さい。</p> <p>・高学年には照れや恥ずかしさがあった。6年生が手本になるようにしていきたい。6</p> <p>・保健室でもあいさつができない児童が多い。クラスで差がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ名人を続け」、さらによくしたい。9</li> <li>・あいさつがんばり表などを使い可視化する。</li> <li>・校門でのあいさつ運動と放送の利用</li> <li>・もっと呼びかける。心を育てる。</li> <li>・あいさつがなぜ大切なのかを子どもに考えさせるようにしたい。2</li> <li>・さわやか委員会で、校外、地域の方まであいさつを広げたい。</li> <li>・家庭を巻き込むとよい。</li> <li>・早くに出勤し、児童全員にあいさつできるようにする。</li> <li>・大人が見本になる。</li> <li>・「ありがとう」をしつこく催促していく。</li> <li>・学校全体で高学年を育てるとよい。</li> <li>・返事についての指導が必要☆「あいさつ名人」活動をバージョンアップする。</li> <li>・学校から、地域、家庭に響かせよう！挨拶の声。駅前、町の中、下校時のさよならも、子供の企画で。</li> <li>・放送で素敵な挨拶やアナウンスコンテストをする。</li> <li>・部活児童にも通り過ぎるときに皆が挨拶するとか、いかがでしょうか。</li> </ul>
2		<p>○清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何マスふく」など具体的な指導ができたか。</li> <li>・よくできた、学級や班などを称賛することができたか。</li> </ul>	<p>○よくそうじをする個を帰りの会や日報で紹介することができた。</p> <p>○4年生に手伝ってもらいながらがんばれた。</p> <p>○時間内に手際よく清掃できるようになった。</p> <p>○清掃リーダーをきめ、班で反省会を充実させた。</p> <p>○何マスふく、等具体的な指導で身に付いた。3</p> <p>○学級会で、話し合ったので無駄話しないで取り組めた。</p> <p>○水ぶきが上手な班の清掃場所を写真に撮りみせたところまねする班が沢山あった。</p> <p>○成果を可視化すると意欲が高まった。・おしゃべりが多いときがある。3</p> <p>・ぞうきんがけをいやがる子がいる。</p> <p>・6年生が来たりこなかったり、遅くなったりする。</p> <p>・高学年の清掃態度があまりよくない。2</p> <p>・子どもたちが進んで取り組む姿勢を育てられていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な指導。3</li> <li>・教員もそうじをする。</li> <li>・全校的な取り組みをする。清掃週間、放送の活用。</li> <li>・班の反省だけでなく、学級で称賛する。</li> <li>・その日や週の重点目標をきめたい。</li> <li>・美化委員会の活動の充実</li> <li>・清掃箇所が離れており目が届かなかった。7年生にお願いできないか。</li> <li>・清掃班の反省会を有効なものにする。</li> <li>・スローガンの取り組みが必要。</li> <li>・びかびか賞に、金のほうき、銀のちりとりを贈呈:スプレーで染めて!</li> </ul>
3		<p>○個々の存在を大事に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人ひとりを受容し、活躍の場を設けたか。</li> <li>・対処策だけでなく、予防策にも取り組んだか。</li> <li>・特別支援学級と連携し、交流活動を工夫したか。</li> <li>・特別に支援が必要な児童に組織で対応したか。</li> <li>・教育課程全体で道徳性が身に付くよう指導したか。</li> <li>・授業参観で道徳を実践し保護者と連携して育てる姿勢を伝えたか。</li> <li>・一人ひとりを大切に、規律ある学級集団として成長できたか。</li> <li>・誕生日を祝う等、一人ひとり「掛け替えのない存在」だとう事を意識させることができたか。</li> </ul> <p>(牛乳で乾杯等、学級毎のアイデアで祝い合う。)</p>	<p>○児童理解に努めた。</p> <p>○保護者と連絡をとり個性や関わり方について話すことができた。</p> <p>○子どもを呼び捨てにしないよう心がけた。</p> <p>○コーディネーターと連絡を取り合っ児童の支援ができた。4</p> <p>○特別支援委員会で、情報交換できてよかった。</p> <p>○授業参観で、学年全クラスで道徳を展開した。5</p> <p>○いろいろな児童が活躍できるように心がけた。</p> <p>○児童の成長を沢山ほめている。</p> <p>○子どもの誕生日に一人ひとりを祝った。6</p> <p>○配慮が必要な児童に対して、担当外の先生方に関わっていただいた。</p> <p>○集団生活の苦手な子に対しては、専任の役割を与え、認められる機会を増やした。</p> <p>○子どもたちは学校が大好きと言っており保護者とのコミュニケーションがとれている。</p> <p>○交流の児童に配慮しながら活動できた。</p> <p>・交流授業では、連絡ミスが多い。</p> <p>・支援はどの子どもにも必要なので、細やかな支援をしていきたい。</p> <p>・トラブルに対して予防的な配慮が足りなかった。</p> <p>・修学旅行後はふさがけがまかり通っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援の研修会で、具体的な支援の方法を研修する。2</li> <li>・トラブルにならないよう予測と手立てが必要。</li> <li>・整理整頓など自主的にできるようにしていきたい。</li> <li>・話し方、聞き方を改善したい。</li> <li>・保護者との連携を図り、具体的な手立てをともに考えて行きたい。2</li> <li>・道徳の時間を充実する。</li> <li>・子ども一人ひとりが活躍する場面を増やす。</li> <li>・次年度への引き継ぎをしっかり行い支援の内容に混乱が生じないようにする。</li> <li>・年間を通して集団力が向上できるようにする。悪いことはダメという空気を浸透させる。</li> <li>・保健室では児童や保護者にできるだけ丁寧に対応していきたい。</li> <li>・ものを大切にすることを育てるため、記名に心がける。</li> <li>・いろいろな形態で、一人ひとりを心がけていきたい。</li> <li>・できなくても大丈夫という安心感を与えることが大切。</li> <li>・学年全体での目が必要。</li> <li>・折に触れてエンカウンターを行い、児童の胸襟を開ける努力をしよう。</li> <li>・個と学級集団共にやさしい言葉で褒めて育てる。</li> <li>・全校でQ-Uを実施して学級の児童の満足度を測ることも良いかもしれない。</li> <li>・6年が1年と関わったように、異年齢年齢ふれあいをチューターのように行い、学校生活のルールを教えたり、読み聞かせしたり、勉強も教えたり、長縄を一緒にやったり・年間通した関わりで子供同士で教え合うピアサポートもできるのではないかなあ？</li> </ul>
4		<p>○「わかる授業」実施のため、教育課程を工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かがやき学習」が充実したか。</li> <li>・辞書引き、調べる学習、話し合い型、ノート指導等、学びを支える学習(言葉の力)の指導を継続的に行ったか。</li> <li>・5、6年英語必修化に向けた、3、4年生から外国語活動の実施、文部科学省指定拠点地域としての試行ができたか。</li> <li>・年間計画、週計画を作成し、計画的、意図的に指導したか。</li> <li>・意図的な板書づくり・地道なノート指導に努めたか。</li> <li>・教育機器を効果的に使えたか。</li> </ul>	<p>○5年生の個別学習では、学力を伸ばすことができた。</p> <p>○かがやき学習のプリントが充実していた。4</p> <p>○プリント学習が充実していた。2</p> <p>○ノート指導を行えた。5</p> <p>○ノートには思考後が残るように吹き出し等を書かせた。</p> <p>○ICTを活用した。5</p> <p>○先を見通した計画がたてられた。2</p> <p>○算数は学年で指導法の指導方法の工夫を行った。</p> <p>○書写、そろばん、かがやき学習の指導の方々の協力があつたかった。</p> <p>○教科担任制で、教材研究がしっかりできた。</p> <p>○問題作りや、グループ協議などで、言語活動の充実が図れた。</p> <p>○なのはなは、個別の支援計画を元に発達段階に合わせた指導ができた。</p> <p>○指導計画、板書計画、掲示物等教材研究ができた。</p> <p>○授業の進め方、ヒントカードの工夫、ノートの取り方の工夫で、余裕を持って意欲的に取り組むことが増えた。</p> <p>○計画的に時間が運用されて基礎力が向上した。</p> <p>○かがやきの効果もある。領域や問題の枚数、分量を工夫できているので、次年度にも引き続き、教員チームで取り組めると良い。</p> <p>・教育課程をうまく構築することができなかった。</p> <p>・先の見通しをしっかりと計画できなかった。</p> <p>・地道なノート指導が足りない。</p> <p>・ノートの取り方の指導。</p> <p>・調べ学習が足りない。</p> <p>・担任の先生が多忙で、計画的な英語学習が難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校の実践をあつめるネットワークを作る。</li> <li>・教育機器を効果的に活用したい。6</li> <li>・辞書を上手に活用したい。</li> <li>・話し方が分かるように指導したい。</li> <li>・発問計画を立てしゃべりすぎないようにする。</li> <li>・児童の教え合いや学び合いを増やす。</li> <li>・演習の時間も「分かる」「楽しい」になるよう工夫する。</li> <li>・英語学習は、計画、実践、反省をして学校としての積み重ねをしていく必要がある。</li> <li>・週案の活用</li> <li>・すっきりした単元計画で授業を行いたい。</li> </ul>

5	<p>本年度の重点指導について</p>	<p>○基本的な学習習慣の定着 ・チャイムが鳴ったら席に着く、「グー、ビタ、ピン、サッ」の正しい姿勢で座る、シンプルな学習道具を整えるなどの基本的な習慣が身に付いたか。 ・家庭学習の習慣化ができたか。(学年でそろえる等)</p> 	<p>○授業内でそのつど指導した。 ○「グー、ビタ、サッ」を合い言葉に指導し身に付けてきた2 ○よい姿勢が身に付いてきた。5 ○宿題は学年でそろえた。3 ○宿題をやってくるようになった。2 ○チャイム着席ができるようになった。5 ○互いに声をかけるようになった。 ○家庭学習が習慣化してきた。 ○ふでばこの中身の点検を毎朝行なった。 ○始業前・終了時に10秒間姿勢をよくする時間を設けたことで、授業態度にメリハリがつくようになった。 ・チャイム着席ができなかった。2 ・しっかりした学習週間の定着がおそろになった。 ・家庭学習を忘れる児童には個別で対応した。3 ・正しい姿勢を保持させた。2 ・身に付いていない児童への手だてを考えること。 ・姿勢を保持できない子がいる。3 ・宿題以外の家庭学習が定着していない。 ・音楽室にわざと遅れてくる児童がいた。 ・クラスによって差がある。 ・高学年は休み時間から戻ってくるのが遅い。 ・朝の会が長すぎるクラスがある。 ・鉛筆の持ち方。</p>	<p>・八木北スタンダードを設定する。 ・学習道具の置き方などを絵で示す。 ・掲示物でよい姿勢を掲示するとよい。 ・学習道具の揃わない児童には引き続き指導していく。 ・姿勢はこまめにチェックし声をかける。2 ・忘れ物に声をかける。2 ・家庭学習や内容や量について修正していきたい。 ・家庭学習は、家庭への啓発が必要。 ・地道に家庭学習の定着を図りたい。 ・時間は、教師自ら気をつける。2 ・交換授業を図工など主要教科以外でできるとよい。 ・金曜日の家庭学習も学年チームで出す。ミニテスト、スキル大会実施。 ・基礎力向上に家庭も巻き込みたい。「ちばっ子チャレンジ100」の国語、算数、理科の問題を活用したい。 ・生徒指導の機能を活かした交換授業、習熟度別授業、テーマ別グループなど変化をもたらして学ぶ意欲を喚起させる。</p>
6	<p>きちんと学ぶ子</p>	<p>○授業改善 ・児童が能動的に考える授業への改善ができたか。(算数科・全学年) ・児童が、工夫して説明する力を高めることができたか。 ・タブレット端末・実物投影機等、ICTを積極的に活用にしたか。(可視化・ユニバーサルな学習) ・学力テスト、ワークテスト等の結果を指導の改善に生かしたか。 ・児童の参加態度(挙手、発表、提出物等)に意欲が見られたか。 ・共同研究、若年層研修等により児童の思考力・表現力が着くよう、授業の工夫改善ができたか。 ・各教科に指導の意図を持ち、思考し表現する場や言葉で説明する場を設けたか。</p> 	<p>○研究授業を通して、児童が能動的に考えるための指導計画や場の設定、教具について学ぶことができた。 ○若年層研修は授業改善に役立った。3 ○一部の学年であるが、習熟度別や取り出し授業が始められた。学習意欲が高まった。 ○学年で協同して授業を進めることができた。3 ○ブロックを使って考えさせたり、自分の考えを説明させたりと工夫することができた。 ○算数ではブロック図や操作サクランボ図を使いどの子もやり方が説明できるようにさせた。 ○ヒントカードを活用し、低位の子の支援をした。 ○ICT、タブレットの活用ができるようになった。7 ○拡大投影機でわかりやすい授業に努めた。 ○グループでの話し合い活動を積極的に取り入れた。 ○算数は考えをノートに書ける子が多くなった。2 ○教師主導の授業にならないよう、児童に活動の時間を作った。2 ○わかりやすく話したり、比較して友だちの意見を聞けるようになった。 ○英語では、できる子だけが発表する授業にしないため、個人、ペア、グループなど活用したことがよかった。 ・発表する子が偏りがち。 ・ICTの活用があまりできなかった。少なかった。3 ・低位の子どもへのヒントカードなどの支援が足りなかった。 ・学習活動にメリハリがつくよう時間配分することが大切。</p>	<p>・若年層研修では強調点を入れた指導案を作成し、授業の見方を指導する。 ・挙手だけではなく発表の機会を工夫し、手の上がらない子にも発表の経験をさせる。間違ってもいいという安心感が必要。 ・児童がペアトークや全体の場で発表する機会をもっと増やしたい。 ・キーワードだけの発表、詳しい発表などバリエーションを増やして説明する力をつけていきたい。2 ・ICTの活用をさらに進めたい。3 ・実物投影機を活用したい。 ・児童が説明する力をつけるためには、初期段階で、基本の形を身につけることが大切だと思う。 ・低位の児童に対するヒントカードなどの準備をする。 ・導入部分を大切に、意欲的に学習できるようにする。 ・空き時間等で他の先生の授業から学びたい。 ・研修や学習会に積極的に参加し学ぶ。 ・一人ひとりの診断的評価で、実態にあった指導法を探っていくのは、なほでは、説明する力を養うため、語彙を増やす。 ・英語は先生方の意見交換が必要。 ・分かる音楽、できる音楽を目指し、ひとりでも多くの児童が楽しめるよう工夫したい。 ・八木北小スタンダードを創り、単純な事を繰り返し、定着させる。朝学習の運用(①辞書引き、言葉集め、仲間分け②話型の定着:ナンパリング、結論-理由など③題名付け、要旨を200字で書く。④聞き書き、メモなど) ・身の回りの学習用具の整理整頓のスタンダードを創る:「片づけ隊」黒板スッキ隊:ユニバーサルな環境 ・ぐんぐんマークで意見を関連させる方法をまず、職員で編み出す。先進校を真似る。 ・分ける、並べる、違いに印を付ける、仲間分けして、見出しを書く。式、絵、図、やじるしを用いて! ・可視化 ICT・付箋・引用カード等</p>
7	<p>たくましい子</p>	<p>○チームで指導し、様々な個性への対応 ・教科担任制や習熟度別クラス編制による指導ができたか。 ・算数少人数担当や算数サポートによる、きめ細かな指導や習熟度別学習ができたか。</p> 	<p>○個に応じた形で指導することができた。 ○少人数やサポートの先生の指導で、下位の子を引き上げられた。7 ○学年で協力しながら学習指導できた。2 ○問題行動があったときは学年で協力しながら対応できた。 ○3学期は、習熟度別クラスにおいて、低位の児童への手だてを組むことができた。2 ○習熟度別のクラスで学習することで、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られた。3 ○教科担任制で効果が上がった。2 ○給食時の担任交代や算数のクラス分けで学年の様々な児童と関わることができた。(6年)2 ○情報交換をよく行いながら個を理解することができた。 ○学年や先生によって差がある。 ○担任と連携し、チームで学年を指導することができた。 ○支援が必要な児童に対して学年や特別支援委員会で共通理解することができた。 ・上の学年ほど個人差が大きい。 ・個別での指導は学級でしかできなかった。(6年) ・T2としては、アクティブラーニングの中で、個々に適切なヒントやアドバイスをを行うのは難しい。</p>	<p>・かがやき学習などでも、実態にあった問題をさせる必要がある。 ・少人数の先生がいないときの手だてが必要。 ・生活面での指導は学年の連携が特に大切。 ・学年や学校全体で、課題を共有し解決することが大切2 ・習熟度別の良さが分かったので、今後も続けていきたい。 ・他の先生方と連携を密にすることに努めていく。 ・学年当初から、教科担任制を位置づけるとよい。 ・一人ひとりの困りに自分ももっと気づけるようになっていきたい。 ・習熟度別グループ学習、一部教科担任制で、チームで児童を見ていく。 ・学期初めにサポートや加配の先生方と打ち合わせを持ち、どこに関わるかの軽重をつける。</p>
8	<p>たくましい子</p>	<p>○健康な体を育む ・「遊・友ランキンギンちば」に挑戦したり、運動能力賞を目指したりできたか。 ・児童が外遊びに向かえるような手だてをとったか。(教師と一緒に遊ぶ、レクを計画する等) ・健やかな体づくりの指導を行ったか。 ・怪我を未然に防ぐ指導を意図的に行ったか。</p> 	<p>○体育では苦手な児童でも参加しやすいルールを用いて行うことができた。 ○体育の授業では、起きやすいけがを事前に説明することができた。 ○目標を達成するよう努めた。 ○外遊びが好きで、元気に遊べるようになってきた。2 ○週に一度のクラスレクの実施。週2、3のクラスも。6 ○レクの時間ではなくてもみんなまで遊べるようになった。 ○外遊びの声をかけ、教師も外遊びに加わった。6 ○なのはなは、隙間の時間を使いリラクゼーションやストレッチ等を行った。朝の時間に継続して運動を行った。 ○インフルエンザ対応、嘔吐物セットなど丁寧な対応に感謝します。 ○ゼロゼロで、残菜が減ってきた。 ○クラスのほどよい分量をわかってもらった。献立や材料の工夫など連携を継続していきたい。 ○ジャンピングボードを喜んで縄跳びをした。大会に向けて頑張った。 ・怪我がやや多かった。2 ・外遊びをしたがらない児童がいた。 ・給食では牛乳を児童が多かった。</p>	<p>・体育では、研修に行った人や体育主任を中心に授業研や伝達講習を行う。 ・体育ではスモールステップで体育の目標を設定し、体育カードなどを作る。2 ・賞を作るなど具体的な目標を持って体力作りに励みたい。 ・遊友ランキンギンちばに学級でも挑戦する。学校全体で取り組みましょう。4 ・大きな怪我につながらないよう気をつけていきたい。 ・寒い時期に牛乳を残さない工夫を考える。 ・学級レクを充実させたい。 ・全員が取り組める目標を設定し取り組んでいく。 ・遊友ランキンギンのアップロードを分担して行う。年間通して挑戦したい。</p>
9	<p>部活動での練習</p>	<p>・部活動の指導を積極的に行ったか。 ・児童が部活動に励めるように、支援協力したか。 ・子どもたちが積極的に参加できたか。 ・子どもたちは運動する楽しさや奏でる喜びが味わえたか。</p> 	<p>○他の先生と相談しながら練習メニューを考え実践した。 ○運動部の児童ががんばり走大会で、順位を上げた。 ○曜日毎の練習メニューでやる気をアップさせた。 ○大会終了後ミニバスの練習に参加することができた。 ○子どもたちは元気に参加することができた。 ○出席簿をつけるようにした。 ・職員で打ち合わせる時間が欲しい。 ・部活としての規律が課題 ・指導技術が課題 ○コンクールやお祭りのお手伝いをした。 ○地域の祭りの出演を地域の方も喜んでくれた。続けられると良い。 ○どの児童に意欲を持って取り組めるよう声をかけた。 ○児童は他学年とも関わることができた。 ○集団で一つの目標に向かって励まし合うことの大切さ、尊さをともに学ぶことができた。 ○いろいろな曲を練習している。 ・あいさつや心の交流をもっとさせたい。</p>	<p>・陸上の教え方を学びたい。4 ・一人ひとりが積極的に楽しく取り組めるよう配慮する。2 ・練習に計画性が足りないので打ち合わせを定期的に行った方がよい。2 ・年度初めに分担し、夏休みの練習等も担当者を決めておく。 ・運動部は、達成すべきスキルを表にして、挑戦させ、選手選びの基準を明確にする。</p>

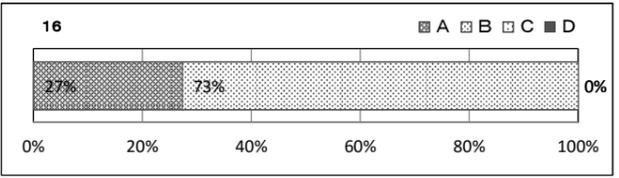
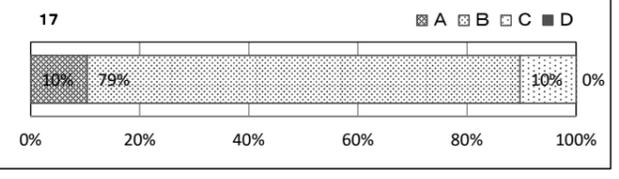
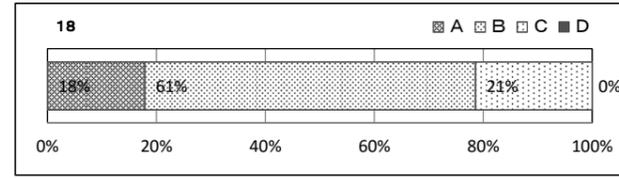
10	安全で開かれた学校への更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員として自らの危機管理意識が向上したか。</li> <li>・教師が児童への安全指導が適切に行われたか。</li> <li>・各種訓練に成果が見られたか。</li> <li>・小中連携、地域との連携が深まったか。</li> <li>・行事等を通して、開かれた学校づくりに努めたか。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別面談を早い内に行い、子どもの指導に役立った。</li> <li>○保護者の連絡や会話が去年より増え、児童理解につながった。</li> <li>・作品展の参加を増やしたい。</li> <li>・地域との連携についてはもう少し改善できると思う。</li> <li>○安全点検日はきちんと確認することができた。</li> <li>○交通安全については、繰り返し指導を行った。</li> <li>○教室での安全指導はしっかり行えた。3</li> <li>○交通安全教室、防犯教室等しっかり行えた。</li> <li>○避難訓練はしっかり行えた。3</li> <li>○悪天候の登下校時の安全確保は協力分担して行えた。3</li> <li>○学年毎にパトロールのコースが決まってい動きやすかった。</li> <li>・避難訓練は行うことが前面に出てきている。内容が大切。</li> <li>・安全主任として登下校の指導についてあまりしっかり考えていなかった。天候や不審者対応などで状況に応じた対応ができるようにしていく。</li> <li>・下校指導があまりできず、十分とは言えない。</li> <li>・非常ベルへの対応方法の不安</li> <li>○モラルアップの委員長として研修をしたり、打ち合わせで話をする中で、意識が高められた。</li> <li>・USBの扱いなどで焦ったことがあった。</li> <li>○小中連携で合同研修会を持ち交流できたことはよかった。</li> <li>○なのはなでは、児童からの暴力が激しいときに他の児童を別室に移すなどの安全策を行った。買い物学習などで安全指導を行った。</li> <li>○校長先生のご指導により多くのことが改善された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の時期が夏休み、冬休みから遠い日になっているので、設定日を見直す。</li> <li>・作品展や学習参観への参加をもっと知らせたい。</li> <li>・授業参観や懇談会に保護者が参加してくれるよう内容を工夫したい。</li> <li>・地域の方々と交流する機会があってもいい。</li> <li>・毎月何回かパトロールや声かけ運動等、地域の方を巻き込んでできることを考えられると思う。</li> <li>・ホームページの充実が地域との連携のよい手段です。より充実させていきたい。</li> <li>・訓練は事前指導を大切にしたい。</li> <li>・困ったことや報告すべきことはメモに残す。</li> <li>・安全について日常的に指導するようにしたい。</li> <li>・学年等で、自主的に下校指導する。</li> <li>・教員として自己管理意識が高められた。</li> <li>・年間の見直しを持って位置づけていくことが大切。</li> <li>・教室環境を日々整えることが大切。</li> <li>・安全については事例を使って研修を行ってはどうか。</li> <li>・メール登録の100%化を目指す。</li> <li>・着衣水泳はスイミングクラブでも指導してくれるかもしれない。自分たちでもできる。</li> <li>・不審者対応避難訓練も行えると良い。</li> </ul>
11	日常業務の中で、組織的な取り組みができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの立場での連携ができたか。</li> <li>・「報告・連絡・相談」体制がとれたか。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署、校長、教頭と連携を取ることができなかった。</li> <li>○学年での連携がよくとれた。11</li> <li>○管理職や主任の先生に相談した。10</li> <li>○英語では、学習上で、また授業中の問題等を必要に応じて報告連絡した。</li> <li>相談しやすかった。すぐに対応してくれるので、安心して相談できた。</li> <li>・報告が遅れてしまうことがあった。2</li> <li>・若年層の連携がうまくとれないことがあった。</li> <li>・報告や連絡が足りなかった。</li> <li>・体育部や部活でもっと連携がとれるとよい。</li> <li>・交流学級に授業変更の連絡を漏らすことがあった。</li> <li>・なのはなでは介添員と打ち合わせる時間の確保が課題。</li> <li>・担外は連絡体制をしっかりとっていないと情報を得ることができない。</li> <li>・世代交代とともに課題だと思います。</li> <li>・勤務時間内ではあまり打ち合わせをする時間が持てなかった。(算数サポート)</li> <li>・忙しそうに相談しづらいこともあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事前には動きの確認を行うようにする。</li> <li>・週案をしっかりと毎週出す。</li> <li>・経験年数の差が大きいので、伝え方を具体的にしていかなければならない。</li> <li>・些細なことも相談する。2</li> <li>・今後もすぐに連絡相談できるようにする。</li> <li>・朝の時間などを利用してコミュニケーションを図りたい。</li> <li>・校内レクなどもやるとよい。</li> <li>・今後も組織で情報を共有しながら、連携する。</li> </ul>

<各行事、校務分掌等を振り返る>

12	行事・活動名( )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の方法を工夫し、年間のねらいや目標が達成できたか。</li> <li>・運営面を工夫したか。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>(校外学習)・他の校外学習と日程が近すぎることがあった。</li> <li>・週に2つの校外学習引率は大変でした。○事前の準備がしっかりしていたので、充実した校外学習になった。2○学年集会でしっかり指導した。</li> <li>(昔遊びの会)○社協の方々、保護者にたくさん協力していただきよい会になった。念入りに準備して行うことができた。</li> <li>(幼稚園交流会)○インフルエンザで延期となったが、年度初めに日程をきめておいてよかった。</li> <li>(わくわく発表会)○劇の台本作り、構成等主となって取り組んだ。</li> <li>○学芸的な発表の機会となり、とてもよかった。</li> <li>(運動会)・児童が自ら目標を持って取り組めるようにしたい。</li> <li>(なわとび大会) 司会進行であったのに他の先生に頼り切ってしまった。</li> <li>(健康診断) 日程が厳しくとても大変だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(校外学習)・一週間に一つ程度を目指して日程調整する。</li> <li>・どんな活動をするか目的を持って取り組む。</li> <li>(昔遊びの会)・缶ぽっくりはすぐに来てしまう。何かと組み合わせるとよい。</li> <li>(健康診断) 次年度はスムーズに進められるようにしたい。</li> </ul>
13	校務分掌の委譲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校務分掌の割り当ては適切であったか。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正でした。</li> <li>○国語はさらに学年で割り振りをしたので、よかった。</li> <li>・分掌で何をするのかよく分からないものがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌を割り振る前に何が割り振られるのか教えて欲しいです。</li> </ul>
14	自己の校務分掌の遂行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌の内容を理解し、学校運営に参画する意識を持ち、意欲的に取り組めたか。(分掌)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>(教務)○校長先生のご指導のもと仕事を進められた。</li> <li>・自分では教育課程の工夫はあまりできなかった。</li> <li>(計画委員会)○児童の活動を支援することができた。担当外でも協力して支援できた。子どもたちは意欲的に活動している。</li> <li>(安全)・ひとりでは細かく確認ができていなかったように思う。</li> <li>(図工)○部会の先生に協力してもらった。</li> <li>(清掃)○げき落ちくんなどが充実したので、児童が意欲的に取り組めた。○用具の補充を中心に行った。</li> <li>(教科書事務)○提出期限が守れた。</li> <li>(飼育、栽培)・当番のチェックやえさのチェックがあまかった。</li> <li>(備品)備○品の整理が学期末毎にできた。</li> <li>(保健主事)○ある養護教諭との連絡相談に心がけた。</li> <li>(生徒指導主任)・自分のクラスのことでいっぱいになり、全体に目を向けることができなかった。</li> <li>(理科)○理科室の整備を行った。・備品の紹介はできなかった。</li> <li>(算数)・活用できる備品は紹介する等できなかった。</li> <li>(研究主任)○研推でKJ法を使って話し合い沢山の意見を吸い上げることができた。</li> <li>(情報)・pcルームや印刷機のトラブルなどすぐに対応することができなかった。○タブレットの整備</li> <li>(外国語担当)○推進委員等で学ぶことができた。</li> <li>(特別支援コーディネーター)wiskの実施。たよりの配布。相談活動。</li> <li>(給食)「0,0デー」を提案し取り組むことができた。主任とアイデアを出し合い取り組めた。</li> <li>(保健)・保健室の整備が思うように進まなかった。</li> <li>(就学援助)途中からでしたが迅速にできた。</li> <li>(クラブ)運営の注意点など反省をとるべきだった。</li> <li>(落とし物)落とし物を展示するのを忘れたことがあった。</li> <li>(長欠対策)○早めにチェックして担任に伝えた。・具体的な手だてがたてられなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(教務)他校とのネットワークを構築してよい取り組みを入れていくようにする。本年度の反省を見返し、早い時期に検討していく。</li> <li>(図工)・見直しを持って早めに連絡したい。</li> <li>(清掃)自ら学校に必要な清掃用品を提案できるようにしたい。・委員会の充実を図りたい。</li> <li>(教科書事務)手順をメモする等して効率的に作業ができるようにする。</li> <li>(飼育、栽培) 日常的にできるよう意識する。</li> <li>(備品)使いやすくしていきたい。</li> <li>(生徒指導主任) 今後は部会だけでなく、自ら声をかけ情報を集めたい。</li> <li>(算数) 備品の紹介をしていきたい。</li> <li>(図書) 環境整備や廃棄処理など夏の職員作業に入れてくださるとありがたい。</li> <li>(情報) pcルームの整備を進める。</li> <li>(外国語担当) 来年度の外国語授業では、より小中の系統を意識した授業を行う。</li> <li>(特別支援コーディネーター) サポートファイルのリスト</li> <li>(保健) 手つかずの場所の整理を進めたい。効率化して仕事を進めていきたい。</li> <li>(給食) 数値としての結果は出せていない。</li> <li>(事務) 来年度は他の分掌にも入れていただきたい。ホームページ、転出入、就学援助、集金等。</li> <li>(就学援助) 担当は2人がいいと思います。</li> </ul>

15	不祥事防止	<p>・教育公務員として、誠実に業務に精励できたか。 ・健全な職場風土づくりに貢献したか。</p> 	<p>○不祥事を起こさぬように気をつけて勤務した。 ○集金などお金の取り扱いに注意した。2 ○多くの方と会話をし、健全な職場作りに努めた。2 ○USB等の取り扱いに注意した。2 ○誠実に勤務した。 ○若年層に呼びかけた。 ○モラルアップ委員会で教育公務員としての自覚を呼びかけた。2 ○相談が増えた。 ・休日中の連絡体制に不備がないように努める。</p>	<p>・モラルアップ委員会でさらに研修の機会を作っていく。 ・決めたことは、実行する。 ・24時間教育公務員であることを自分に言い聞かせる。</p>
----	-------	---	---	--

<保護者・地域の方との連携について振り返る>

16	保護者に対して、「迅速に・丁寧に・誠実に・・・」対応できたか。		<p>○特に5年生の保護者には、取り出し授業や発達検査があったので、気を遣って接した。 ○主任や管理職の先生に相談して丁寧な対応を行った。3 ○連絡帳、電話、面談など丁寧に対応した。6 ○気になることやトラブルはその日の内に対応した。4 ○怪我、登校しぶりに対し迅速に対応した。 ○保護者面談が増えた。 ○来客や電話対応等丁寧に対応できた。2 ○何かあったら家まで行くようにした。 ・保護者との連携を増やし、肯定的評価を高められるように努めていきたい。 ・してきたつもりだが、相手の反応力はばらばらである。</p>	<p>・すべての児童、保護者とも顔見知りになれるよう参観日や保護者来校時には校内をまわる。 ・問題がないときでもコミュニケーションをとるようにしたい。2 ・その日のことはその日の内に会話できるようにする。 ・2学期に個人面談日を設け、希望者や必要な方に実施するとよいと思う。 ・児童のよかったことも連絡帳に書くようにする。 ・保健室での電話やお迎え等丁寧に対応を心がけたい。 ・職員玄関や昇降口をきれいに保つことも大切。 ・思いが届くように保護者ときちんと会話したい。 ・後手にならないよう対応する。 ・特別支援的なことで、伝えなければならぬことは、保護者に学校の様子を伝える。 ・「迅速に・丁寧に・誠実に・・・」を大事にする。</p>
17	保護者会やPTA活動で保護者と話し、連携が図れたか。		<p>○去年よりは連携がとれた。 ○ハザーや昔遊びでは協力し合えた。 ○懇談会で保護者からの質問に適切な回答ができたと思う。 ○保護者会では、一人ひとり発言してもらい保護者同士でも情報を共有できた。 ○保護者会では心を開いて会話できた。 ○映像や写真を使い学級の様子が分かるよう努めた。 ○積極的に会話できた。サイコロトークで盛り上げた。 ○来校された保護者へのあいさつ案内は積極的に行った。 ○待ち探検等で沢山の保護者に協力いただいた。 ・自分から積極的に声をかけたが、アンケートを見ると足りない。 ・一方的な質疑応答になってしまった。 ・保護者会の持ち方では工夫が必要だった。 ・一人ひとりの保護者すべてと話ができなかった。 ・クラス以外の保護者とはあまり関わりが持てなかった。 ・家庭差があった。 ・PTAとの距離を感じます。建物の構造的な問題かも知れませんが。 ・どの保護者とコミュニケーションをとっていくのか計画的に行えばよかった。</p>	<p>・PTAの顔あわせや行事の際には積極的に関わる。 ・保護者と先生だけでなく、保護者同士の間でも会話ができるような話題を用意し、話し合う場を持つ。2 ・保護者会の出席率が上がるように工夫したい。6 ・保護者会で動画を取り入れたい。 ・電話や連絡帳での連絡をさらに細かく行う。 ・よい点も改善点も話し合える雰囲気作りが大切。 ・日頃からチャンスがあれば会話するよう心がけたい。 ・掛け違ったときこそ、チャンスと捉えて、会話を重ねる。 ・年間の懇談会計画を学年で立てる。保護者のニーズも聴く。見たい授業も聞いて見る。 ・年間1回以上道徳を実施する。</p>
18	地域との連携が図れたか。 ・登下校指導、地域行事に出向いたか。		<p>○必要な時に登下校指導を行った。8 ○安全指導の方と毎朝会話することができた。 ・学年の留守番をすることが多かった。3 ・登下校指導にできる機会はほとんどなかった。 ・登下校に関してはもう少し積極的に教師も参加すべき。 ○行事のパトロールを行った。2  ○昔遊びの会では連携することができた。 ○吹奏楽部では、地域行事に参加することができた。2 ・地域行事に参加する機会が少なかった。</p>	<p>・下校指導のいくつかの形を安全主任、生徒指導初任とともに作り上げる。 ・定期的に登下校指導を分担して行ってもいいと思う。2 ・地域の行事に参加する。</p>